

# 県民のあゆみ

# 9

No.635

山形県広報誌  
令和5年9月号

県民のあゆみ

9  
No.635

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課  
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子  
県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>



この冊子は、印刷用紙の削減に  
取り組んでいます。



- 2 特集 県内産業の持続的発展に向けてDXを支援!
- 8 奏であう人 移住者の視点で地域の交流を生み出す
- 16 潜入レポート! 山形県警察交通機動隊

### 📷 今月の表紙

マッシュルームの生産現場でDXに取り組むスタッフの皆さん。栽培ハウスにセンサーやカメラを設置し、ハウス内の温度や湿度、CO<sub>2</sub>濃度などの点検作業を自動化するとともに、測定データを分析し、品質や生産性の向上に取り組んでいます。(撮影協力: 有限会社舟形マッシュルーム)



## どうなってるの!?

### やまがたけんけいさつこうつう き どうたい 山形県警察交通機動隊

しろ かくち  
白バイで各地をパトロールする  
交通機動隊。どんなお仕事があるの?



ふだん とうろく せんぜん まも  
普段は道路の交通安全を守るとともに、  
さいがいじ ときべつ にんむ  
災害時には特別な任務も。

交通機動隊は、1960年以降、全国的に交通事故死亡者が急増したことを受けて全国各地で発足し、山形県では1965年に発足しました。交通事故防止に向けて、隊員は白バイに乗って県内各地に出動し、危険な交通違反の取り締まりや子どもたちの通学路の見守りなどを行っています。交通機動隊には、天童市と庄内町の2箇所に拠点があり、そこから県内全域をパトロールします。また、地震や大雨などの災害時には、隊員は、白バイからオフロードバイクに乗り換え、道路や橋が壊れるなどして車では行けない災害現場に向かい、被害情報を集めたり、行方不明者を探したりします。300キログラムもある大きく重い白バイを自由自在に乗りこなすことや、オフロードバイクで土砂やがれきがいっぱいの災害現場を走ることもとても難しく、高い技術が必要です。このため、隊員は晴れの日も雨の日も毎日さまざまな訓練を重ねています。



白バイを自由自在に乗りこなせるように毎日訓練をしています



オフロードバイクでの訓練も



山形県警察交通機動隊  
あさめももか じゆんき  
浅沼 桃佳 巡査  
けんみん みな  
県民の皆さんが、毎日安心して安全に過ごせるように、日々の訓練を重ね、パトロールをしています。みんなで交通ルールをしっかりと守り、交通事故の防止に取り組んでいきましょう。



どのくらいゆっくりと渡れるかな?  
さまざまな道路状況の中を安全に走ることが大事な白バイ隊員。一本橋の上をできるだけゆっくり走る訓練でバランス力を鍛えます。



災害現場を想定した訓練場  
災害を想定し、さまざまな地形や障害物が配置された訓練場。何度も何度も練習し、運転技術を高めます。厳しい訓練は危険と隣り合わせです。



冬に活躍するのは覆面パトカー  
冬の間は、雪や道路の凍結により、白バイではパトロールできないため、覆面パトカーに乗り換えてパトロールをします。



コースを走りぬげる白バイ!  
運転技術の向上を目的とした公開訓練会が年に一回行われます。白バイ隊員の高い技術が間近で見られるチャンス!

